

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2015年6月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	5/28	0	10.7	31.85	200	0	0	60	0	
噴火湾湾口部		5	9.9	31.80	110	0	0	40	0	
7.0		10	8.0	32.17	70	0	0	60	10	Dn10
		15	6.7	32.20	50	10	0	20	30	Dn30
		20	4.4	32.47	160	0	0	20	60	Dn60
		25	3.8	32.54	0	0	0	0	0	
		30	3.8	32.65	0	0	0	0	0	
		40	3.7	32.75	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾湾口部では3.7~10.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2015年5月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	5/21	0	8.6	31.48	690	0	0	50	0	
噴火湾西部		10	6.8	31.90	390	0	0	20	10	Dn10
5.0		20	4.6	32.36	70	10	0	20	0	
		30	3.6	32.58	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾西部では3.6~8.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2015年5月22日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	5/18	0	6.3	32.02	0	0	0	20	20	Dn10, Dru10
		10	5.2	32.27	0	0	0	10	20	Dn20
		20	3.4	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.71	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.5	5/18	0	9.7	28.10	2,760	0	0	10	0	
		5	8.1	31.79	150	0	0	0	0	
		10	7.5	31.88	90	0	0	0	0	
		15	5.2	32.16	340	0	0	0	0	
		20	4.0	32.40	10	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.0	5/18	0	9.4	31.44	340	0	0	110	0	
		5	8.8	31.64	360	0	0	330	0	
		10	8.5	31.68	600	0	0	70	0	
		15	6.3	32.04	70	0	0	30	10	Dn10
		20	4.7	32.32	0	10	0	0	0	
		25	4.4	32.36	0	0	0	20	0	
知内 津軽海峡 12.0	5/18	0	10.6	33.98	0	0	0	0	0	
		10	10.2	33.99	0	0	0	10	0	
		20	10.0	34.04	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。両海域とも出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

5月中旬の水温は、太平洋中部では2.3~6.3°C、噴火湾東部では3.5~9.7°C、噴火湾西部では4.2~9.4、津軽海峡では10.0~10.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2015年5月19日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D属の他種</i> 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.5	5/8	0	6.9	31.87	0	0	0	10	10	Dn10
		10	4.9	32.40	0	0	0	40	60	Dn50, Dro10
		20	5.5	32.86	0	0	0	0	10	Dro10
		30	2.6	32.72	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.5	5/7	0	9.5	29.83	70	0	0	10	0	
		5	8.2	31.77	70	0	0	40	0	
		10	6.1	31.95	10	0	0	30	0	
		15	5.0	32.19	10	0	0	10	10	Dn10
		20	4.6	32.24	0	0	0	0	0	
25	4.3	32.36	80	10	0	0	10	Dn10		
森 噴火湾西部 8.0	5/1	0	8.5	31.40	0	0	0	1090	0	
		10	7.0	31.97	0	0	0	240	10	Dn10
		20	5.3	32.13	0	0	0	30	0	
		30	3.7	32.47	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*

*Dn*=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

*Dm*=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

*Di*=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

*Dro*=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、太平洋中部では2.6~6.9°C、噴火湾東部では4.3~9.5°C、噴火湾西部では3.7~8.5です。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)